

アルインコ 子会社「東電子工業」を移転拡張 17億円超投じプリント基板生産増強

アルインコ（本社・員・小林宣夫氏）の子会社「東電子工業」（本社・東京 都八王子市石川町、社野町に移転拡張する。大阪府中央区、代表取締役社長兼社長執行役員製造販売を手掛ける東長・東孝之氏）は、本需要拡大に伴う生産能

力の増強が目的で、省力化機械設備を新規に導入し、内製化も推進

る。東電子工業での本社工場の拡張移転はM&A関連の大型投資だ。工事は地元の田中建設（東京

する。竣工は2023年10月末を予定。総投資額は17億円超。「中期経営計画2024」では3年間で153億円の投資を計画す

る。東電子工業の新たな本社・工場は、所在地が東京都八王子市北野町。敷地面積は2222平方メートル（現本社・工場の約5倍）、延べ床面積が2941平方メートル（同約4倍）。

アルインコは21年8月、東電子工業を完全子会社化した。東電子工業は1979年創業、80年設立。プリント基板メーカーとして顧客の評価は高い。アルインコグループ企業のアルインコ富山では半導体チップの実装（下流）を手掛けている。東電子工業が基盤（上流）を担うことで、事業拡充が図れる。電子セグメントにおける経営資源・事業基盤の活用でシナジーを相互に発揮、グループで企業価値の向上を目指している。なお、東電子工業の現本社工場は、第2工場として使用するなど、アルインコグループ企業内での活用を検討していく。



新工場建屋（パース）の完成予想図（上）と建設中の建屋、足場はアルインコの看板製品「アルバトロス」（新型くさび緊結式足場）

